



南部町立南部中学校 学校だより 第9号

チーム南部中

令和3年 9月1日(水)
校長 望月和彦

2学期が始まりました

8月18日山梨県内の多くの市町村がまん延防止重点措置の対象となり、25日の山日新聞には「小中高分散登校を」という記事が一面に掲載されました。2学期の学校生活を心配した生徒やご家族の方もあったことと思います。本校は、町教育委員会と慎重に相談した結果、学級あたりの生徒数が通常より少ないことから、登校している生徒数の制限やオンライン授業は行わずに、これまでの「3密回避」「マスクの着用」「手指消毒」を徹底しながら、さらに健康チェックの徹底、登下校の分散化、感染対策に配慮した授業、部活動の制限、輝城祭の延期と実施内容の縮小、日常生活での感染防止策の強化など、特別な感染症防止策を取り組むことで2学期の教育活動をスタートさせることにしました。(詳細については、8月27日に配布しました「まん延防止等重点措置及び臨時特別協力要請の期間について」<通知>をご覧ください)

8月27日(金)の朝、全校生徒が体育館一杯に広がって整列し「2学期始業式」を行いました。1年



生の瀧井ひなのさんは「1学期はいろいろなことを経験し、取り組んだ。2学期は輝城祭に向けて先輩たちからたくさんのことを学び、充実した2学期にしていきたい。」2年生の依田大輝さんは「2学期は1学期以上に提出物や課題の質を上げたり、自分で考えて3分前行動ができるようにしたり、当たり前の基準を上げたい。先輩として動くことが多くなるので、自分のやるべきことをやるだけでなく、周りを見て動いたり、下級生にアドバイスしたりできるようになりたい。」3年生の佐野志穂さんは「2学期の最初の目標は、輝城祭を成功させ

ること。そのためには最上級生として一人一人の自覚が求められている。輝城祭は1・2年生とともに活動できる機会があるので、3年生としてふさわしい姿を見せたい。また、教達検などがあり進路を左右する大切な時期なので、個々が自立し仲間とともに乗り越えていきたい。」生徒会役員の前田鈴音さんは「感染が拡大し、輝城祭が11日から17日に延期になった。3週間の取り組みの中で個や集団の課題を克服し、身につけたい力を伸ばしていきたい。たくさんの行事の中で、仲間との関わりを増やし、仲間の良いところを生かし、自分も生かされる学校をつくっていきたい。」4人がそれぞれの立場で、立派に決意を述べてくれました。

私からは「こうした時間にも、たくさんの人々の命を救うために寝る時間も削って働いている医療現場の方々や保健所の方々などがいます。そうした多くの方々のおかげで学校生活を送ることができていることを心に刻んで、自分たちにできる事をしっかりやっていきましょう。こうした厳しい状況でしか、学べないこと、身につけられない力があります。それは皆さんの人生の中でもきっと役に立つと信じています。そういう意識を持ってこれからの2学期を過ごしていきましょう。」と生徒たちに伝えました。始業式の最後に、佐野舞養護教諭が2学期に全校で取り組む感染症対策について、細かく生徒たちに説明しました。



↑ 登校時の健康チェック



↑ 飛沫防止ガードを使った授業

夏休み中の出来事

7月後半には、県総体が行われ男子バレー部、野球部、女子ソフトテニス部が峡南地区代表として出場し、それぞれの会場で熱戦を



繰り広げました。昨年度は中止になった吹奏楽コンクールも、今年度は観客を制限して開催され、吹奏楽部が一生涯練習してきた成果を県民文化ホールで発表しました。3年生は中学での部活動の集大成の場として、3年間やってきたことを出し尽く

くそうと、1・2年生は3年生に少しでも長く続けてもらおうと、心一つにして戦い、演奏する姿が見られました。地区陸上で代表権を得た生徒たちも、県総体の陸上の部に出場しました。他校のレベルの高い選手と競技できたことは良い経験になったと思います。その中で男子バレー部は見事県3位となり、関東大会への出場権を獲得しました。関東大会は8月前半に東京都内で開催予定でしたが、8月に入り日々国内の感染状況は悪化。選手と保護者の相談の結果、出場を辞退することになりました。関東大会出場を目標にしていた生徒も多かったので、辛く苦しい決断になりました。自分のことばかりでなく、仲間のこと、家族のこと、支えてくれた周りの人たちのことを考えての決断だったと思います。その悔しい決断をした経験が、生徒たちのこれからの人生の力になることを期待しています。また、校外で空手や体操を習っている生徒たちも、南部中学校の名で県総体に出場しました。結果は次の通りです。



県 総 合 体 育 大 会	男子バレーボール部	城南・富竹合同チームに2-0出勝利 御坂中に2-0で勝利 準決勝で田富中に0-2で敗退 3位決定戦で押原中に2-0で勝利 山梨県第3位 → 関東大会の出場権を得たが出場辞退
	野球部	初戦で明見中に3-4で敗退
	女子ソフトテニス部	初戦で都留一中に2-1で勝利 2回戦石和中に0-2で敗退
	陸上競技	17人が峡南地区代表として出場 佐野結菜：2年女子100mH5位
	季節部	空手競技に2・3年生4人が出場 柿島瑛心：個人形第4位 体操競技に1年生1人が出場
県吹奏楽部コンクール		B部門に出場「権(むげ)の花～千利休の愛した女～」を演奏 「銅賞」



↑ 身延高校でのサマーセミナー

その他、夏休み前半には、3年生の希望者が身延高校で受験勉強に励み（サマーセミナー）、校内では学年ごとの学習会や新チームでの部活動、輝城祭の準備に励む姿が見られました。園芸委員の生徒たちは交替で植物への水やりを行ってくれました。

8月10日からは、感染症拡大のため校内での生徒の活動は原則中止とし、PTA 親子環境整備作業も中止させていただきました。例年とは異なり、校舎内に生徒の声がしない寂しい夏休み後半でした。

第11回輝城祭の日程を9月11日（土）から17日（金）に延期し、「無観客」とさせていただきました。生徒やご家族、関係者の健康と安全を第一に考えての措置ですので、何卒ご理解願います。ご家族に輝城祭の様子をってもらう方法について現在検討しています。